

「働く人々のメンタルヘルスに関する調査」

報 告 書

平成 13 年度

労働福祉事業団
福島産業保健推進センター

目 次

はじめに	1
方 法	2
結果および考察	3
1 基本的属性の状況	3
2 各尺度の結果と関連要因	3
3 職場要因との関係	4
4 生活要因とメンタルヘルス	6
ま と め	9
文 献	10
図表および資料	11～21

添付資料：調査用質問票「働く人々のメンタルヘルスに関する調査」

平成13年度 産業保健調査研究

「働く人々のメンタルヘルスに関する調査」

研究員名簿

●研究代表者●

福島産業保健推進センター所長

小山 菊雄

●総括責任者●

福島大学 教育学部教育心理学教授

五十嵐 敦

●相談員●

総合病院福島赤十字病院 精神神経科部長

沼田 吉彦

福島労災病院 心療内科部長

桃生 寛和

●研究協力者●

福島労災病院 心療内科医師

岡本 香奈

はじめに

産業構造とそれともなう職業構造の変化は、人々の働き方の変化とともに職業生活における健康問題にも大きな変化をもたらした。さらにIT産業の発展をはじめとする技術革新は、職場の作業形態や内容にも大きな変化をもたらしている。これまでの職業病や労働災害についての対策の多くは、製造業などの現業部門における作業環境や機械およびその操作、各種器具類の使用に関する問題などを中心としてきた。また、重大災害に結びつきやすい建設業を中心とした事故防止についてもさまざまな取り組みがなされてきた。それに対して近年、労働人口の6割を超えるようになったサービス業を中心に、現業部門における事故災害防止とは異なる健康対策も求められるようになった。

このような状況において、人々の職業生活におけるストレスが職業性ストレスとして特に注目されてきており、非現業部門における健康維持を考える重要な要因であることが確認されてきた。さらにこのストレス要因は事故災害発生の背景にある関連因子としても無視することはできない。厚生労働省による第9次労働災害防止計画においては、死亡災害が年間2,000人台で推移する現状を打破することが大きな課題とされている。これまでの事故災害防止への取り組みに加え、その職業生活全般にわたる健康対策が求められているといえる。そのための労働安全衛生マネジメントシステムを作っていくためにも、働く人々の生活要因を職場内要因に限定せず、家庭生活及び日常生活など広い範囲でとらえ、その関連性とともにより明らかにする必要がある。

労働省（現在の厚生労働省）によれば、自分の職業生活に関して「強い不安、悩み、ストレス」を感じている労働者の割合は年々増加しており、1997年度の調査（12,000事業所の16,000人を対象）では62.8%に達し、ストレス関連疾患の患者の増加が指摘されている。そして、ストレスの原因は「人間関係の問題」が最も多く、次いで「仕事の質の問題」、「仕事の量の問題」の順になっている。なかでも自殺との関連では、労働環境の変化による仕事量の増加、職場復帰困難事例の増加とともにうつ病事例の増加も報告され、これらが自殺と結びついている可能性も存在している。

「自殺」は1998年以降、総数が3万人を越え、そのうち勤務者が7,000人以上であった。また1998年から急増している状況がある。これまで自殺の多くは中高年男性においてその頻度が高い。しかし、労働人口に占める女性労働者の数の増加とともに、あらたな健康対策が、特に精神保健の面からも十分検討されなければならない。

以上のことから、福島県においても、人々の職業生活における精神保健と生活要因との関係を、その実態とともに明らかにしておく必要がある。そのことによって、今後の勤労者のメンタルヘルス対策を立てる上での重要な資料となることが予想される。

方 法

調査対象：福島県内の従業員50名以上の各事業所を地域と人数を考慮して抽出し、その上で事業所ごとに調査用紙を送付し配布を依頼した。主要市部4市においては1/10、それ以外の地域については1/5の抽出率で調査対象事業所を抽出し、それぞれ一律に15人の調査対象者の人選を依頼した。その結果、協力が得られた事業所数は266社、調査対象者は2,540人となった。

調査用紙の回収は、プライバシーの保護と回答の精度を高めるため、個人が調査用紙に添付された返信用の封筒により郵送でそれぞれセンターに返送するようにした。しかし、一部の事業所では担当部署が回収したところもあった。その結果、回収できたのは全部で1,094名分であった（回収率43.1%）。

調査用紙：調査用紙は2部用意した。1部は職業生活全般に関わる以下のような構成とした。

- ① 対象者の基本的属性（性別・年齢・勤務先業種・職種ほか）
- ② 生活習慣（睡眠・食事・嗜好など）
- ③ 仕事と生活に関する意識や状況
- ④ 生活出来事（最近の生活上の具体的変化）
- ⑤ 主観的満足感尺度

藤田ら（1990）が、Lowton（1975）のPGCモラル・スケールや谷口ら（1982）の自信度尺度などから作成した12項目の尺度。「はい」が1点、「どちらでもない」が2点、「いいえ」が3点の3件法による。逆転項目が5項目あるが、集計では得点が高いほど満足度が低いように統一した。

- ⑥ 希望尺度

Snyder（1994）のHOPE Scaleの邦訳（筆者）版である。全8項目で、「全くその通り（1点）」から「全く違う（4点）」までの4件法である。得点が高いほど、希望の強さや明確さがある。

- ⑦ 職場内ソーシャルサポートスケール

片受ら（2000）の勤労者用ソーシャルサポート尺度である。全24項目で、「いつもよくある（1点）」から「ほとんどない（4点）」の4件法による。得点が高いほど、職場におけるサポートが少ないことを示している。

もう一部は主に独立変数として用いるための日本版SDS尺度である。

これはZung（1965）の自己評価式抑うつ尺度の日本語版で、全20項目、4段階評定によるものである。上記の⑤と内容的に重なることも予想されたが、これまでの先行研究でも注目されてきた要因として直接取り上げる必要があると判断した。

なお、基本集計においては1,094名分をすべて対象とし、記載漏れなど無記入・無回答分を最低限排除した944名分について分析統計を行った。そのため分析結果によって若干人数には変動がある。

結果および考察

1 基本的属性の状況 (○内は図表の番号である)

女性の8割、男性の9割以上がフルタイム勤務者であった(1-③)。勤務期間は、全体の5割以上が11年以上勤務し、現在の勤務先には6~20年に半数近くが集中していた(1-⑥⑦)。業種では、男女とも約4割が製造業に属し、次いでサービス業が多かった(1-④)。従事している職種では、女性が事務に半数近く集中し、次いで現業生産、保健医療関係と多かった(1-⑤)。男性では現業生産、事務、専門技術が2割前後で散らばっていた。勤務時間体制では、全体の8割が日勤であった(1-⑧)。労働時間は週当たりの総時間数で回答を求めた(1-⑨)。女性で半数強が40時間以内で、男性では3割弱であった。男性の5人に1人は1日10時間以上の勤務している。そのことが残業の結果にも表れている(1-⑩)。男性のほぼ4割弱が毎日残業しており、週1~2回も含めると8割が残業している。女性でも4割以上が同じ状況であった。

最終学歴を見ると男女とも約6割が高卒で、特に女性の半数が該当する。大卒以上は全体では13.8%であったが、男性だけではほぼ2割であった(1-⑪)。通勤時間は、全体の7割以上が30分以内であった(1-⑫)。

また、既婚者は全体の約7割で、未婚者は4人に1人程度であった(1-⑬)。住まいの状況は、家族との同居がほぼ9割に達した(1-⑭)。このことから家族の要因も被調査者のメンタルヘルスに大きな影響を及ぼしていることが予測されたが、後述の統計分析において特に有意な結果は得られなかった。

これらの中から主な項目間でクロス集計を行った。年齢と週労働時間では、いくつかピークがあり20歳代前半や50歳代後半が多く、次いで30歳代後半が続く。勤務体制と週労働時間の関係では2交代や不規則の労働時間が、担当職種との関係では管理がもっとも多く、研究・教育・営業販売などが続く。業種では卸・小売をトップに建設、サービスが続く。

以上、男女別の回答の傾向には、統計的に有意な違いは特に明らかにならなかった。このことから男女ともかなり同じような状況で職場生活を営んでいることが推測される。また、全国的にはサービス業が6割以上を占める状況で、今回、製造業がもっとも多かったことから福島県という地域性なども考慮に入れなければならないであろう。

2 各尺度の結果と関連要因

使用した4つの尺度について、その基本統計を以下に示す。(*** $P < .001$)

	全 体 (n=943)	女 性 (n=421)	男 性 (n=522)
SDS 尺度 (抑うつ度)	40.11 (7.95)	40.78 (7.64)	> 39.57 (8.14) **
主観的満足感 (不満足度)	22.22 (3.97)	22.07 (3.91)	22.31 (4.00)
HOPE 尺度 (希望の強さ)	21.34 (4.47)	21.25 (4.46)	21.48 (4.48)
勤労者 SS 尺度 (サポートの無さ)	52.33 (12.89)	49.88 (13.07)	> 54.69 (12.73) **

概況を把握するため多項目分析や単純相関の分析などを行い、その上でいくつか特徴的な要因について分散分析によって確認することにした。

各尺度と主要因の単純相関

	不満足感	希望度	サポートの低さ	就業期間	労働時間	年齢
SDS	** 0.62	** -0.2	** 0.16	-0.02	0.02	** -0.19
不満足感		** -0.23	** 0.28	0	0.04	-0.02
希望度			* -0.06	0.03	-0.01	** 0.09
サポートの低さ				0.04	0	** 0.26
就業期間					0.02	0
労働時間						0

(*… P < .05, **… P < .001)

一般に労働負荷として労働時間や就業経験など注目されるが、労働時間や就業期間との間には有意な結果は得られなかった。

単純相関の結果を見ると年齢や各尺度間に.001水準から.05水準で有意な相関関係が見られただけであった。当初から各尺度間の内容に近接したものが見られたため、今回のメインであるSDS得点に関する説明要因となるものを求めるためさらに重回帰分析をおこなった。その結果、主観的満足感と年齢が.001以下水準で、希望度が.05以下水準で有意な説明変数として抽出された。

抑うつ状態の指標となるSDS得点について、年齢の要因が大きいこと、性差があることから後者の2要因による分散分析を試み、その得点内容を検討することにした。その結果、年齢要因による主効果が $F=4.45$ 、 $p<.001$ で、性別要因が $F=5.55$ 、 $p<.05$ で有意であることが確認された。

また、ストレス・コーピングにおいてソーシャルサポートの重要性が指摘されていることから、年齢と性別の2要因によるサポート得点の分散分析を行った。その結果はやはりそれぞれの主効果がともに.001以下水準で有意であった ($F=8.63$ 、 $F=34.29$)。

以上のことから、抑うつ度については年齢とともに減少する傾向にあるといえる。女性の抑うつ度が男性に比べ有意に高いことから、女性への対応について特に配慮することも必要である。特に、10代後半、20代後半、50代の女性については男性より抑うつ度が高い傾向が見られる。50代については更年期などの要因も考慮されるべきだろう。一方、ソーシャルサポートの重要性が指摘されながら、今回は抑うつ度との関連はあまり明確にならなかった。サポートの受け止め方に関する個人差やサポートの質的な検討が必要と思われる。また、男性は女性に比べるとサポートが得にくいことがわかる。特に20代前半や40代前半など生涯発達の観点(Lewinson, 1984)で移行期にその傾向が顕著であることから周囲の配慮が求められると思われる。

3 職場要因との関係

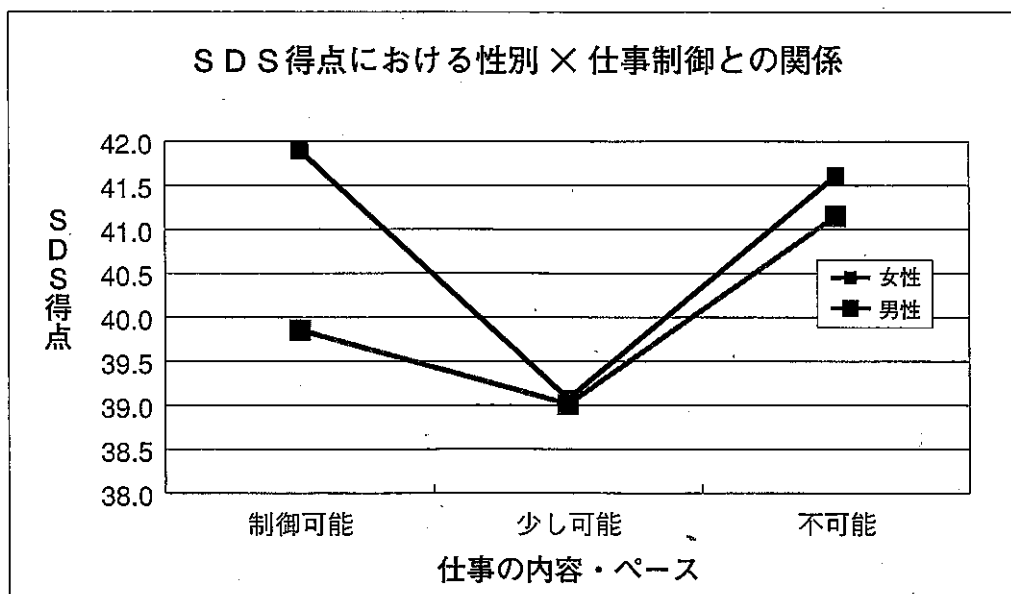
次に、職場ストレスは直接職場要因に関する属性と関連していることを確認するため、SDS得点の状況を業種別×性別の2要因分散分析から検討した。結果は、性別要因の主効果が.05水準で見られただけだった($F=5.37$)。直接担当している職種別でも同じ結果であった($F=5.39$, $p < .05$)。これらのことから、全体に女性が男性よりSDS得点が高いのは業種や職種よりもその性差による面が大きいことがわかる。

なお、勤務形態のちがいによるSDS得点については人数のばらつきが大きいので、全体で比較した。結果から夜勤の場合と不定期の場合のSDS得点が高いことが推測されるが、夜勤は今回7名のデータでありさらに検討を要する。

ストレス研究でも指摘されるように、実際に人々の精神的健康に大きな影響因となっているのは出来事そのものではなく、当事者の受け止め方である認知的側面が問題とされる。さらに、職務や作業におけるコントロール感が影響因としても注目されている。このことから以下のような分析を行った。

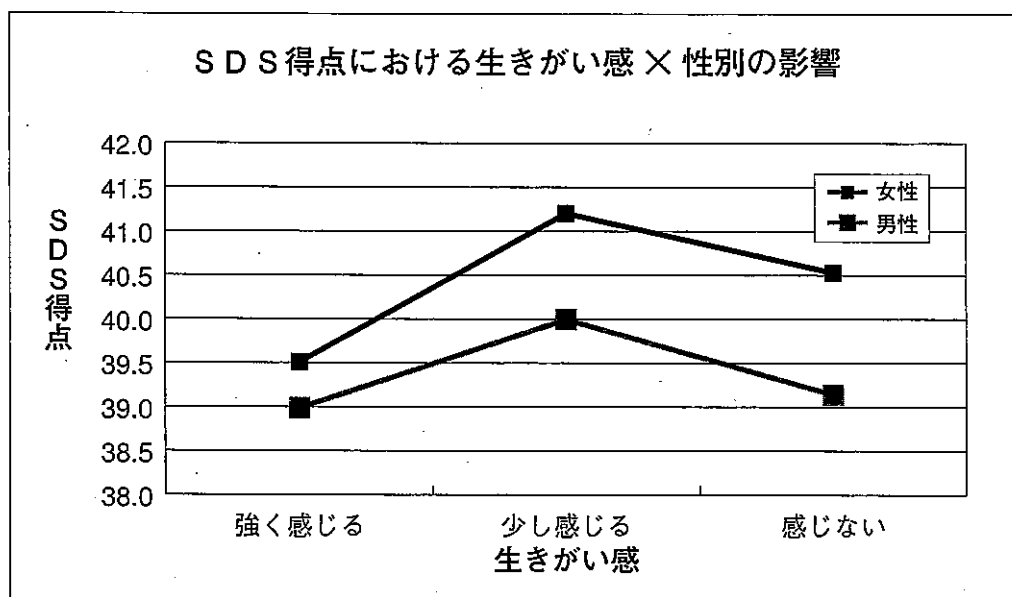
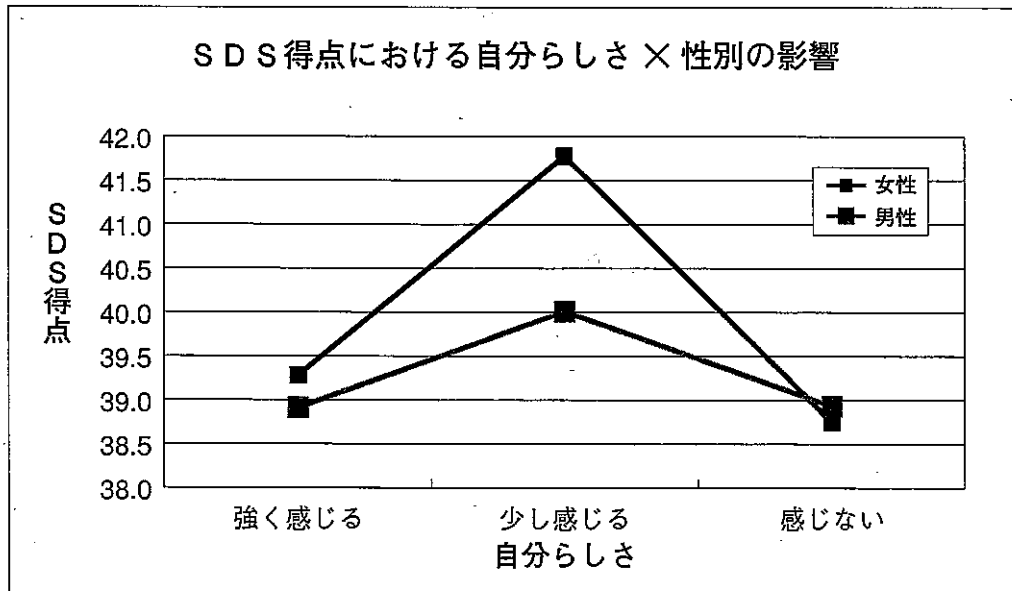
質問3-①から⑧は、仕事の捕らえ方と自己とのかかわり方を問うものであった。この8項目について分析を行い重複する要因を整理し、特徴的な要因についてそれぞれ性別を加味した分散分析を行った。

まず、基本となる仕事の内容やスピードなどコントロールに関する要因(制御可能性)と性別による2要因分析をSDS得点について行った。その結果、コントロール感の程度については $F=5.20$, $p < .001$ で有意な主効果が、性別については $F=5.44$, $p < .05$ で有意な主効果が見られた。注目されるのは、男女とも「少し可能」で抑うつ度は低く、「制御不可能」で高くなる。しかし、制御可能な場合、男性に比べて女性は不可能な場合よりも抑うつ度が高くなっていることが注目される。



次に、仕事に対する「自分らしさ」の感覚について同じように2要因分散分析を行った。その結果、「自分らしさ」では $F=6.29$, $p < .001$ 、性別では.05以下の水準で有意な主効果が見られ

た。ここでの特徴としては、ほどほどの自分らしさを感じている群のSDS得点が男女ともそれ以外の群より高く、特に女性のSDS得点は男性より高かった。生きがい感については性の主効果が確認されただけであった。



職場における実際的なサポートの側面として相談機能について質問した。その結果、男女とも内容にかかわらず身近な同僚を相手として想定していた(3-⑨・⑩)。しかし、男性は、職場における仕事上のことは上司や担当部署に、個人的なことは友人に、といった区別をしているようだ。女性のほうは、仕事上のことも個人的なことも友人に相談することが多いようだ。

業種や職種による明確な違いは明らかにできなかった。抑うつ度が性差の影響をうけるとともに、かなり個人的要素や生活要因の影響が考えられる。また、仕事のコントロール感や自分

らしさにおいて、必ずしも男女は同じ状況ではないことがわかった。特に、女性のまじめさや責任感の強さがストレスの一要因として考えられる。このことから雇用状況におけるそれぞれの特性に基づいた管理なども考慮されなければならないことが伺われる。

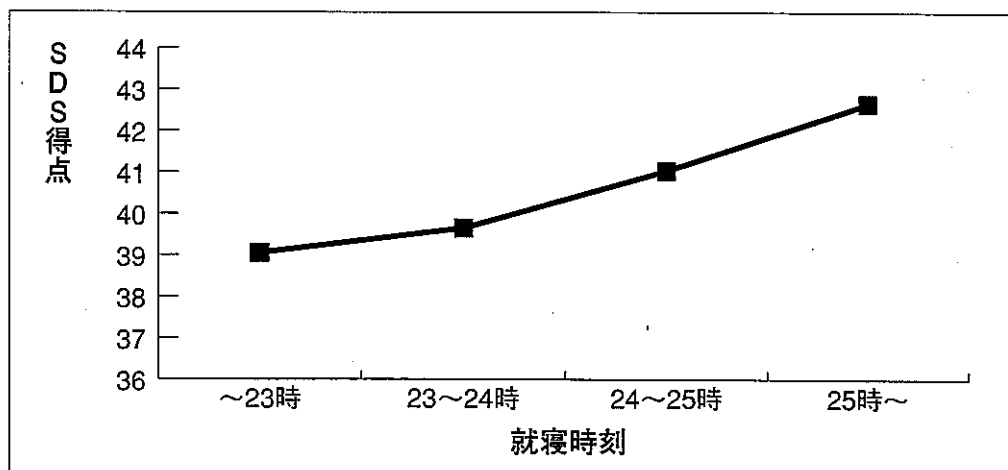
4 生活要因とメンタルヘルス

いくつかの生活習慣の特徴とともに SDS 得点との関係を探った。

まず、生活状況と意識において、住居・家族についての結果は、一部の女性が男性より不満と回答する傾向が見られる(3-⑪~⑮)。生活のリスク要因と各尺度との間の有意な関係は明らかにならなかった。子育て、介護などの問題と抑うつとの関係は今後の分析を待ちたい。

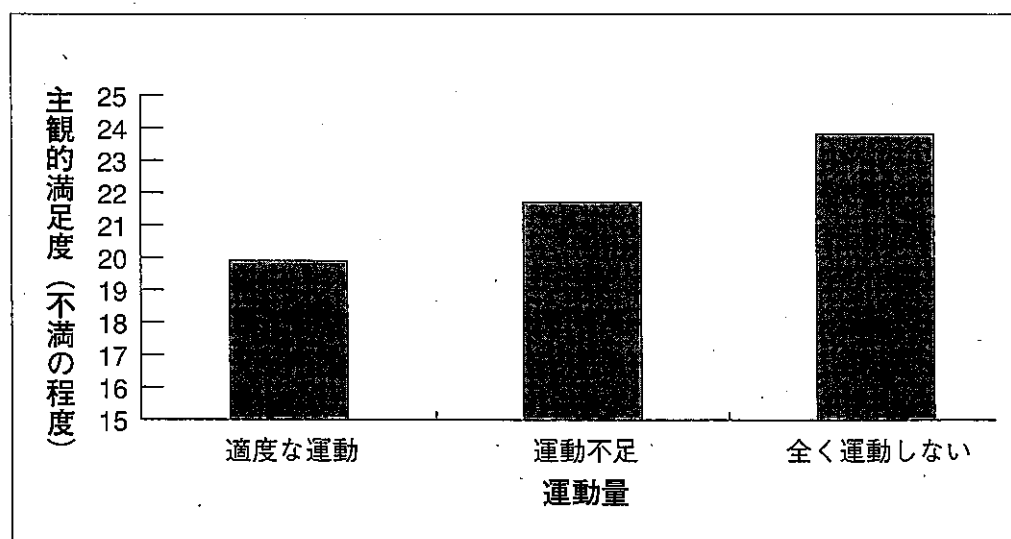
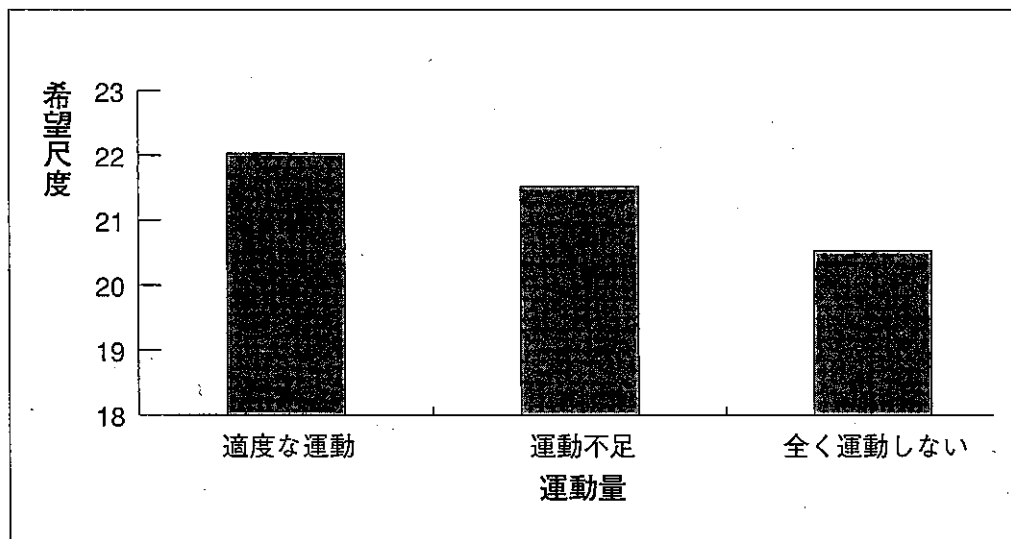
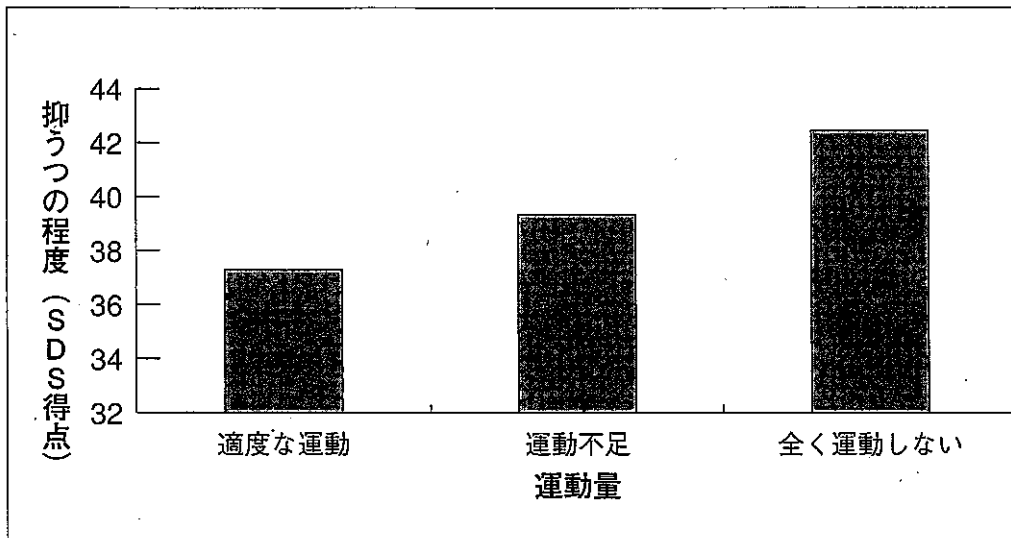
SDS 得点による抑うつ度との関係から、各生活要因について統計的な分析を試みた。その結果、特に就寝時刻が大きく影響していることがわかった。就寝時刻をもとに SDS 得点の 1 要因分散分析を行ったところ午前 0 時以降に就寝の場合、SDS 得点はそれ以前に就寝する群より有意に高くなった。ただし、勤務体制との関係までは見ていないのでその影響については今後分析を加える。

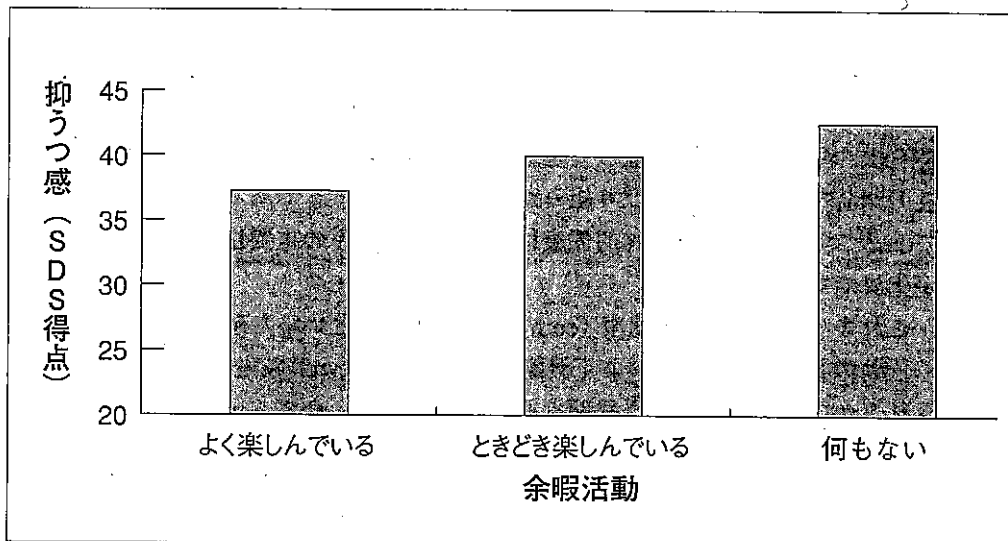
特に日勤者の場合、遅くまでおきていることが翌日の目覚めや日中の活動能力に悪い影響をあたえることは当然であろう。そのことが作業状況や職場における対人関係にも影響を及ぼしていることも考えられる。そのことが入眠を遅らせているかどうかは不明だが、テレビ視聴やパソコン、ゲームなどの行動要因との関連も今後検討の課題と思われる。



また、生活習慣で注目されるのが運動に関する状況である。特に運動量で、適度な運動をしている群は、他の群に比べて抑うつ度が低く、希望を強く持ち、不満の程度も低いことが統計的に有意であることがわかった。余暇活動でも、よく楽しんでいる人ほど抑うつ度は低いといえる。これらの関係を因果論的には説明できないが、抑うつ度が低ければ運動も余暇も楽しめるし、それができるくらいなので抑うつ度が低いとも考えられる。ただし、以上のことから睡眠、特にいつ眠るかといったことや、生活における運動や余暇の重要性についてあらためて確認できたといえる。

さらに、前述のように SDS 得点が女性で有意に男性より高いことから、家庭生活における家事や育児の負担などさらに検討の余地を残している。





生活要因については、十分分析がすすんでいないため全体的な傾向だけをまとめた。その結果からは、基本的な生活習慣としての睡眠や運動などの要因が注目されることを確認できた。抑うつ度との関連では、入眠障害は不眠などの問題として代表的な症状との関連も予測される。したがって活動内容の質や量などとの関連からも探る必要があるだろう。さらに家事や育児などどうしても女性に負荷がかかりやすい要因や家族のサポートなどについても、さらに分析を加えることが必要である。

まとめ

職場における保健衛生の推進がこれまで以上に求められる時代となった。保健衛生に関する問題の中でも精神的健康は古くて新しい問題として、健康管理全体にかかわるものである。これからの精神保健に関する各種取り組みを進めていくためにも今回おこなったような実態調査が求められている。

今回の調査では、県内勤労者における職場状況、勤務状況、そして生活状況に着目し、これまでの先行研究で指摘されてきた主要因について、まずその実態を当事者の意識を中心に把握することに努めた。結果からは、男女の職場における実際行動面での違いはあまり見られなかった。一方で、一般的に言われているストレスコーピングにおける抑制因子が男女で異なる影響を持っている可能性が示唆された。また、サポートの問題や企業における相談機能の認識とその活用などいくつかの課題も浮き彫りになったといえる。

日常生活では、基本的な睡眠にかかわる要因と運動などの経験が注目された。今後、福島県でも増加するであろうサービス業を中心に勤務形態の多様化などがもたらす生活時間の変化について、健康問題との関連で検討を急ぐ必要性を感じた。雇用・就労状況の多様化による健康問題について、このような基本的な側面を踏まえておくことは重要であろう。特に交代制の影響や統計的には明らかにならなかった夜勤の問題なども個人ではなく組織としてどのような対策が求められるか探る必要がある。

多くの要因についてはさらに検討の余地を残している。生活に関する個人的リスクの問題や

職場における実際的な活動の特性について関係を明らかにしていかなければならない。また、事業所の規模や特性についても加味し、福島県という地域性とともに関与部による社会的な背景についても取り上げていく必要性が示唆された。

事業所の多くは、生産性の向上・危機管理対策、コストメリット、企業イメージの向上、産業人の創造性の開発などさまざまな取り組みが行われているようである。しかし、こうした基盤作りとして、そこで働く人々の精神的健康に対する取り組みの重要性をあらためて優先させていくことが先決であろう。

そこでは、これまでの「完全なる健康 (complete health)」といった理念や理想による取り組みだけでなく、勤労者個々が「自分がよく機能している状態 (well functioning)」がどのように形成、維持されるかに関する具体的な援助も求められている。今後、メンタルヘルスの強調傾向が、企業などの組織における対策から、個人の責任といったすり替えがすすむ危険性も指摘されている状況で、今回の調査結果が何らかの情報提供として、今後の各事業所における産業保健推進の役に立てることを願っている。

文 献

- 藤田利治、大塚俊男・谷口幸一、1990 老人の主観的幸福感とその関連要因 社会老年学 No.29, 75-85.
- Karasek, R.A. & Theorell, T.:1990 Healthy work. Basic Books New York,
- 片受靖、庄司一子、2000 勤労者のソーシャルサポートの構造と精神的健康に関する研究 カウンセリング研究、 Vol, 33、No.2, 205-210.
- Lazarus, R.S. & Folkman, S. 1984 Stress, Appraisal, and Coping. New York : Springer.
- Levinson, D.J. 1978 The Seasons of a man's Life. New York, Knopf.
- Snyder, C.R. 1994 The Psychology of Hope New York, The Free Press.
- 竹内一夫ほか 1999 群馬県における職場ストレスとうつ状態のリスクに関する疫学的研究報告書。平成11年度労働福祉事業団群馬産業保健推進センター産業保健研究(研究代表者 善如寺秀)
- 労働省編 1999平成11年度労働白書 日本労働研究機構

1-①

性別		%
女性	503	46
男性	584	53.4
無記入	7	0.6
合計	1,094	

1-②

年齢	全体	%	女性	%	男性	%
～19	17	1.6	12	2.4	5	0.9
20～24	108	9.9	70	13.9	38	6.5
25～29	156	14.3	78	15.5	78	13.4
30～34	130	11.9	56	11.1	74	12.7
35～39	131	12	56	11.1	75	12.9
40～44	153	14	77	15.3	76	13
45～49	140	12.8	60	12	80	13.7
50～54	163	14.9	70	13.9	93	15.9
55～59	69	6.3	19	1.8	50	8.6
60～64	19	1.7	4	0.8	15	2.6
無記入	8	0.7	1	0.2	0	0
合計	1094		503		584	

1-③

勤務形態	全体	%	女性	%	男性	%
フルタイム	960	87.8	408	81.1	552	94.5
パートなど	110	10	88	17.5	22	3.8
無記入	24	2.2	7	1.4	10	1.7
合計	1094		503		584	

1-④

業種	全体	%	女性	%	男性	%
製造	471	43.1	219	43.5	252	43.2
運輸通信	67	6.1	16	3.2	51	8.7
卸小売	55	5	19	3.8	36	6.2
サービス	189	17.3	106	21.1	83	14.2
建設	99	9	30	6	69	11.8
金融保険	36	3.3	21	4.2	15	2.6
鉱業	0	0	0	0	0	0
電気ガス水道	34	3.1	10	2	24	4.1
不動産	1	0.1	1	0.2	0	0
その他	132	12.1	78	15.5	54	9.2
無記入	10	0.9	3	0.6	0	0
合計	1094		503		584	

1-⑤

担当職種	全体	%	女性	%	男性	%
現業生産	249	22.8	119	23.7	130	22.3
営業販売	86	7.9	25	5	61	10.4
事務	357	32.6	244	48.5	113	19.3
専門技術	134	12.2	21	4.2	113	19.3
保安	17	1.6	1	0.2	16	2.7
教育	7	0.6	2	0.4	5	0.9
研究	4	0.4	2	0.4	2	0.3
管理	102	9.3	7	1.4	95	16.3
保健医療	67	6.1	53	10.5	14	2.4
その他	54	4.9	24	4.8	30	5.1
無記入	17	1.6	5	1	5	0.9
合計	1094		503		584	

1-⑥

就業期間	全体	%	女性	%	男性	%
1年以内	65	5.9	30	6	35	6
1～3年	143	13.1	100	19.9	43	7.4
4～5年	114	10.4	67	13.3	47	8
6～10年	238	21.8	111	22.1	127	21.7
11～20年	294	26.9	116	23.1	178	30.5
21～30年	141	12.9	56	11.1	85	14.6
31年以上	75	6.9	13	2.6	62	10.6
無記入	24	2.2	10	20	7	1.2
合計	1094		503		584	

1-⑦

勤務期間	全体	%	女性	%	男性	%
1年以内	75	6.9	26	5.2	49	8.4
1～3年	130	11.9	86	17.1	44	7.5
4～5年	113	10.3	53	10.5	60	10.3
6～10年	230	21	103	20.5	127	21.7
11～20年	296	27.1	123	24.5	173	29.6
21～30年	143	13.1	69	13.7	74	12.7
31年以上	52	4.8	21	4.2	31	5.3
無記入	55	5	22	4.4	26	4.5
合計	1094		503		584	

1-⑧

勤務時間	全体	%	女性	%	男性	%
日勤	932	85.2	439	87.3	493	84.4
夜勤	4	0.4	0	0	4	0.7
3交代	45	4.1	17	3.4	28	4.8
2交代	35	3.2	14	2.8	21	3.6
不定期	58	5.3	25	5	33	5.7
無記入	20	1.8	8	1.6	5	0.9
合計	1094		503		584	

1-⑨

労働時間	全体	%	女性	%	男性	%
40時間以内	434	39.7	264	52.5	170	29.1
41～45時間	181	16.5	93	18.5	88	15.1
46～50時間	248	22.7	106	21.1	142	24
51～55時間	54	4.9	17	3.4	37	3
56～60時間	81	7.4	14	2.8	67	11.5
61時間以上	72	6.6	6	1.2	66	11.4
無記入	24	2.2	3	0.6	14	2.4
合計	1094		503		584	

1-⑩

残業	全体	%	女性	%	男性	%
毎日	302	27.6	82	16.3	220	37.7
週数回	178	16.3	74	14.7	104	17.8
週1～2回	143	13.1	66	13.1	80	13.7
月1～2回	83	7.6	47	9.3	36	6.2
月1回以下	93	8.5	57	11.3	36	6.2
なし	275	25.1	169	33.6	106	18.2
無記入	20	1.8	8	1.6	2	0.3
合計	1094		503		584	

1-⑪

最終学歴	全体	%	女性	%	男性	%
中学卒	85	7.8	33	6.6	52	8.9
普通高校卒	446	40.8	247	49.1	199	34.1
専門高校卒	194	17.7	49	9.7	145	24.8
専門各種卒	118	10.8	67	13.3	51	8.7
短大卒	82	7.5	68	13.5	14	2.4
大卒以上	151	13.8	35	7	116	19.9
その他	8	0.7	1	0.2	7	1.2
無記入	23	2.1	3	0.6	0	0
合計	1094		503		584	

1-⑫

通勤時間	全体	%	女性	%	男性	%
9分以内	133	12.2	60	11.9	73	12.5
10～14	207	18.9	96	19.1	101	17.3
15～19	225	20.6	107	21.3	118	20.2
20～29	246	22.5	103	20.5	143	24.5
30～45	197	18	100	19.9	97	16.6
46～59	41	3.7	22	4.4	19	3.3
60分以上	31	2.8	14	2.8	17	2.9
無記入	19	1.7	1	0.2	16	2.7
合計	1094		503		584	

1-⑬

結婚	全体	%	女性	%	男性	%
既婚	751	68.6	318	63.2	433	74.1
未婚	317	29	175	34.8	142	24.3
その他	13	1.2	7	1.4	6	1.1
無記入	25	2.3	3	0.6	3	0.5
合計	1094		503		584	

1-⑭

住まい	全体	%	女性	%	男性	%
一人暮らし	78	7.1	29	5.8	49	8.4
家族と同居	964	88.1	459	91.3	505	86.5
寮等	24	2.2	7	1.4	17	2.9
その他	15	1.4	5	1	10	1.7
無記入	13	1.2	3	0.6	3	0.5
合計	1094		503		584	

1-⑮

家族数	全体	%	女性	%	男性	%
1	60	5.5	29	5.8	31	5.3
2	125	11.4	52	10.3	73	12.5
3	183	16.7	81	16.1	102	17.5
4	262	23.9	110	21.9	152	26
5	186	17	91	18.1	95	16.3
6	131	12	71	14.1	60	10.3
7	69	6.3	40	8	29	5
8	30	2.7	17	3.4	13	2.2
9	7	0.6	4	0.8	3	0.5
無記入	42	3.8	8	1.6	26	4.5
合計	1094		503		584	

1-⑮b

	乳幼児			思春期			未就職			病気			介護		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
いる	221	88	133	287	132	155	248	129	119	77	46	31	83	40	43
いない	743	353	390	682	306	376	709	317	392	852	381	471	847	387	460
無記入	130	62	61	125	65	53	137	57	73	165	76	82	154	76	81
合計	1094	503	584	1094	503	584	1094	503	584	1094	503	584	1094	503	584

2-①a

就寝時刻	全体	女性	男性	起床時刻	全体	女性	男性
0	192	91	101	0	1	0	1
0.5	59	31	28	1.5	1	1	0
1	48	17	31	2.5	1	0	1
1.5	20	14	6	3	3	0	3
2	13	5	8	3.5	2	0	2
2.5	5	1	4	4	5	1	4
3	1	0	1	4.5	5	1	4
3.5	1	0	1	5	51	32	19
4	1	0	1	5.5	117	77	40
5	1	0	1	6	345	180	165
6	3	0	3	6.5	299	129	170
7	1	0	1	7	178	53	125
18	2	1	1	7.5	33	11	22
18.5	4	1	3	8	17	8	9
19	6	3	3	8.5	2	1	1
19.5	4	1	3	9	5	1	4
20	6	1	5	9.5	3	1	2
20.5	4	1	3	10	2	0	2
21	23	7	16	11	1	0	1
21.5	20	5	15	12	1	0	1
22	121	55	66	13	1	0	1
22.5	80	34	46	15	1	0	1
23	280	137	143	144	1	1	0
23.5	183	94	89	無記入	19	6	6
無記入	16	4	5	合計	1094	503	584
合計	1094	503	584				

2-①b

通勤時間	全体	%	女性	%	男性	%
休日眠気	全体	%	女性	%	男性	%
かなり	156	14.3	86	17.1	70	12
やや	605	55.3	295	58.6	310	53.1
感じない	304	27.8	112	22.3	192	32.9
無記入	29	2.7	10	2	12	2.1
合計	1094		503		584	

2-②

食事	全体	女性	男性
規則正しい	720	371	349
不規則	337	121	216
無記入	37	11	19
合計	1094	503	584

食事状況	全体	女性	男性
十分時間あり	177	68	109
急いで食事	246	113	133
普通	553	279	274
無記入	118	43	68
合計	1094	503	584

2-③

運動頻度	全体	女性	男性
毎日	80	32	48
毎週	230	100	130
毎月	181	66	115
年数回	199	102	97
無記入	41	24	17
合計	731	324	407

運動量	全体	女性	男性
適度に十分	105	44	61
時々で不足	626	280	346
しない	350	176	174
無記入	13	3	3
合計	1094	503	584

2-④

喫煙	全体	女性	男性
吸う	446	92	354
吸わない	554	386	168
やめた	77	21	56
無記入	17	4	6
合計	1094	503	584

2-⑥

余暇活動	全体	女性	男性
よく楽しんでいる	176	76	100
時々楽しんでいる	637	281	356
何もない	265	141	124
無記入	16	5	4
合計	1094	503	584

2-⑧

テレビ	全体	女性	男性
よく見る	657	289	368
少し見る	382	193	189
ほとんど見ない	40	18	22
無記入	15	3	5
合計	1094	503	584

2-⑤

飲酒	全体	女性	男性
ほぼ毎日	288	44	244
時々	469	233	236
飲まない	317	219	98
無記入	20	7	6
合計	1094	503	584

2-⑦

読書	全体	女性	男性
よくする	139	75	64
ときどき	591	282	309
まったくなし	349	142	207
無記入	15	4	4
合計	1094	503	584

3-①~⑧ 内容制御

仕事内容・ベース	作業環境			技能・知識の活性化			学習機会								
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性						
制御可能	540	226	314	制御可能	287	107	180	制御可能	333	120	213	ある	193	75	118
少し可能	432	212	220	少し可能	594	281	313	少し可能	609	306	303	少しある	570	241	329
不可能	105	59	46	不可能	193	110	83	不可能	138	74	64	ない	317	185	132
無記入	17	6	4	無記入	20	5	8	無記入	14	3	4	無記入	14	2	5
合計	1094	503	584	合計	1094	503	584	合計	1094	503	584	合計	1094	503	584

自分らしさ

自分らしさ	生きがい			仕事評価			仕事の質量								
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性						
強く感じる	186	73	113	強く感じる	144	57	87	可能性あり	210	70	140	満足	175	65	110
少し感じる	663	302	361	少し感じる	593	271	322	少しあり	646	299	347	どちらとも	683	339	344
感じない	232	126	106	感じない	345	174	171	可能性なし	226	133	93	不満	223	98	125
無記入	13	2	4	無記入	12	1	4	無記入	12	1	4	無記入	13	1	5
合計	1094	503	584	合計	1904	503	584	合計	1094	503	584	合計	1094	503	584

3-⑨

相談相手(仕事の問題)

上司	全体	%	女性	%	男性	%
とても	414	37.8	192	38.2	222	38
少し	486	44.4	220	43.7	266	45.5
しない	122	11.2	66	13.1	56	9.6
該当者なし	48	4.4	17	3.4	31	5.3
無記入	24	2.2	8	1.6	9	1.5
全体	1094		503		584	

担当部署	全体	%	女性	%	男性	%
とても	226	20.7	107	21.3	119	20.4
少し	582	53.2	271	53.9	311	53.3
しない	149	13.6	68	13.5	81	13.9
該当者なし	99	9	45	8.9	54	9.2
無記入	38	3.5	12	2.4	19	3.3
全体	1094		503		584	

同僚	全体	%	女性	%	男性	%
とても	320	29.3	170	33.8	150	25.7
少し	532	48.6	242	48.1	290	49.7
しない	129	11.8	50	9.9	79	13.5
該当者なし	74	6.8	28	5.6	46	7.9
無記入	39	3.6	13	2.6	19	3.3
全体	1094		503		584	

友人	全体	%	女性	%	男性	%
とても	171	15.6	100	19.9	71	12.2
少し	370	33.8	184	36.6	186	31.8
しない	375	34.3	153	30.4	222	38
該当者なし	132	12.1	50	9.9	82	14
無記入	46	4.2	16	3.2	23	3.9
全体	1094		503		584	

産業医	全体	%	女性	%	男性	%
とても	19	1.7	10	2	9	1.5
少し	114	10.4	44	8.7	70	12
しない	410	37.5	178	35.4	232	39.7
該当者なし	492	45	247	49.1	245	42
無記入	59	5.4	24	4.8	28	4.8
全体	1094		503		584	

3-⑩

相談相手(個人的問題)

上司	全体	%	女性	%	男性	%
とても	88	8	37	7.4	51	0.9
少し	354	32.4	128	25.4	226	3.9
しない	495	45.2	258	51.3	237	4.1
該当者なし	118	10.8	60	11.9	58	1
無記入	39	3.6	20	4	12	0.2
全体	1094		503		584	

担当部署	全体	%	女性	%	男性	%
とても	54	4.9	22	4.4	32	0.5
少し	307	28.1	124	24.7	183	3.1
しない	537	49.1	264	52.5	273	4.7
該当者なし	152	13.9	74	14.7	78	1.3
無記入	44	4	19	3.8	18	0.3
全体	1094		503		584	

同僚	全体	%	女性	%	男性	%
とても	169	15.4	89	17.7	80	1.4
少し	534	48.8	264	52.5	270	4.6
しない	264	24.1	102	20.3	162	2.8
該当者なし	86	7.9	30	6	56	1
無記入	41	3.7	18	3.6	16	0.3
全体	1094		503		584	

友人	全体	%	女性	%	男性	%
とても	377	34.5	223	44.3	154	2.6
少し	468	42.8	207	41.2	261	4.5
しない	159	14.5	47	9.3	112	1.9
該当者なし	55	5	15	3	40	0.7
無記入	35	3.2	11	2.2	17	0.3
全体	1094		503		584	

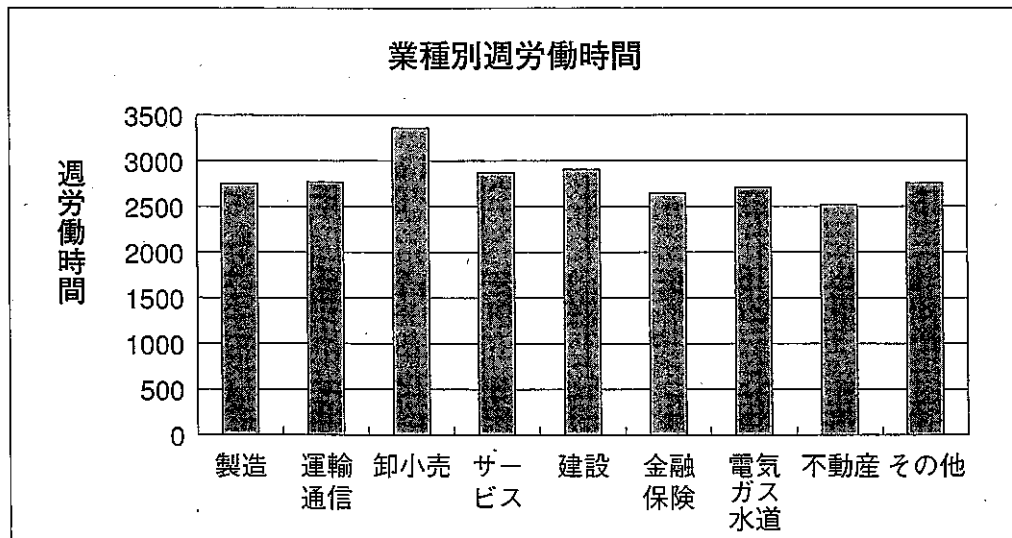
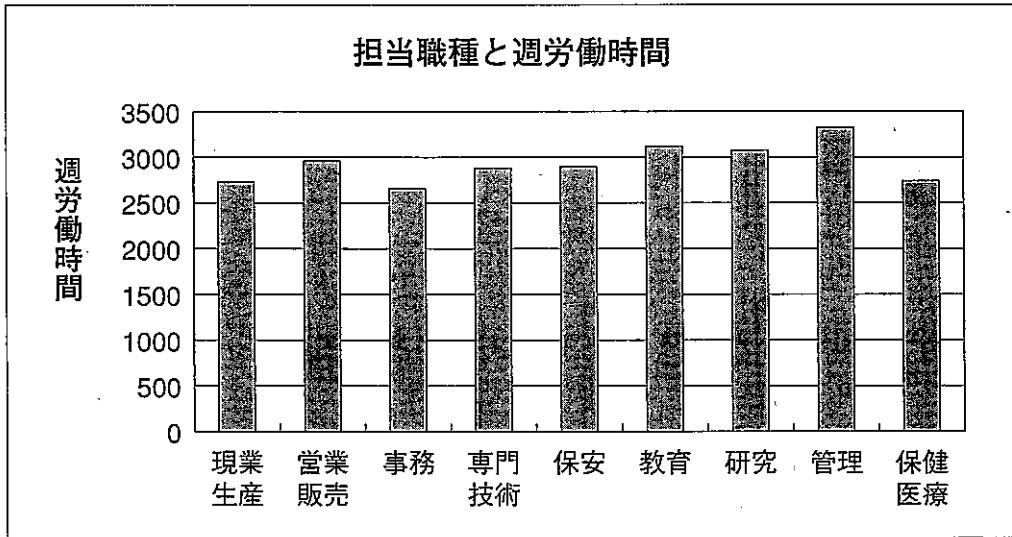
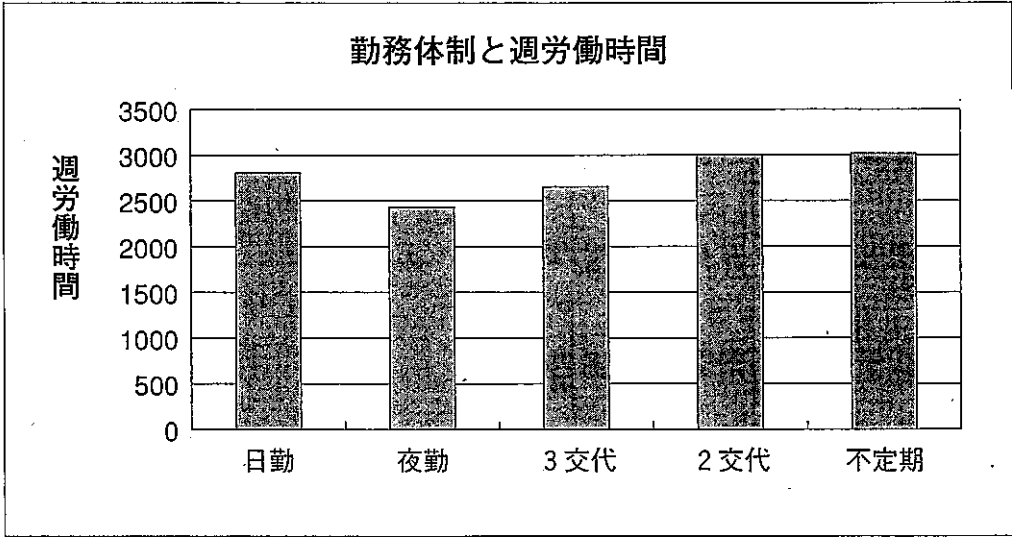
産業医	全体	%	女性	%	男性	%
とても	16	1.5	7	1.4	9	0.2
少し	107	9.8	45	8.9	62	1.1
しない	476	43.5	206	41	270	4.6
該当者なし	435	39.8	220	43.7	215	3.7
無記入	60	5.5	25	5	28	0.5
全体	1094		503		584	

家族	全体	%	女性	%	男性	%
とても	470	43	226	44.9	244	41.8
少し	459	42	207	41.2	252	43.2
しない	96	8.8	48	9.5	48	8.2
該当者なし	36	3.3	13	2.6	23	3.9
無記入	33	3	9	1.8	17	2.9
全体	1094		503		584	

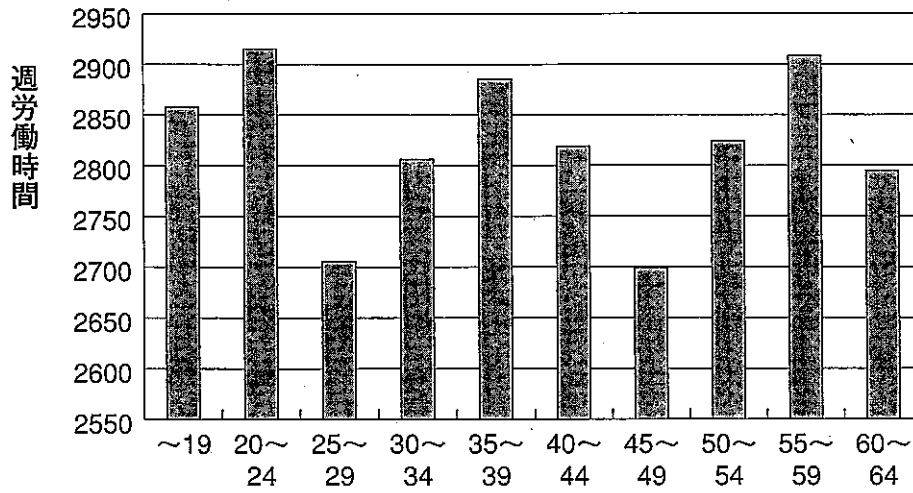
電話相談	全体	%	女性	%	男性	%
とても	12	1.1	3	0.6	9	1.5
少し	74	6.8	37	7.4	37	6.3
しない	614	56.1	272	54.1	342	58.6
該当者なし	337	30.8	165	32.8	172	29.5
無記入	57	5.2	26	5.2	24	4.1
全体	1094		503		584	

3-⑪~⑮

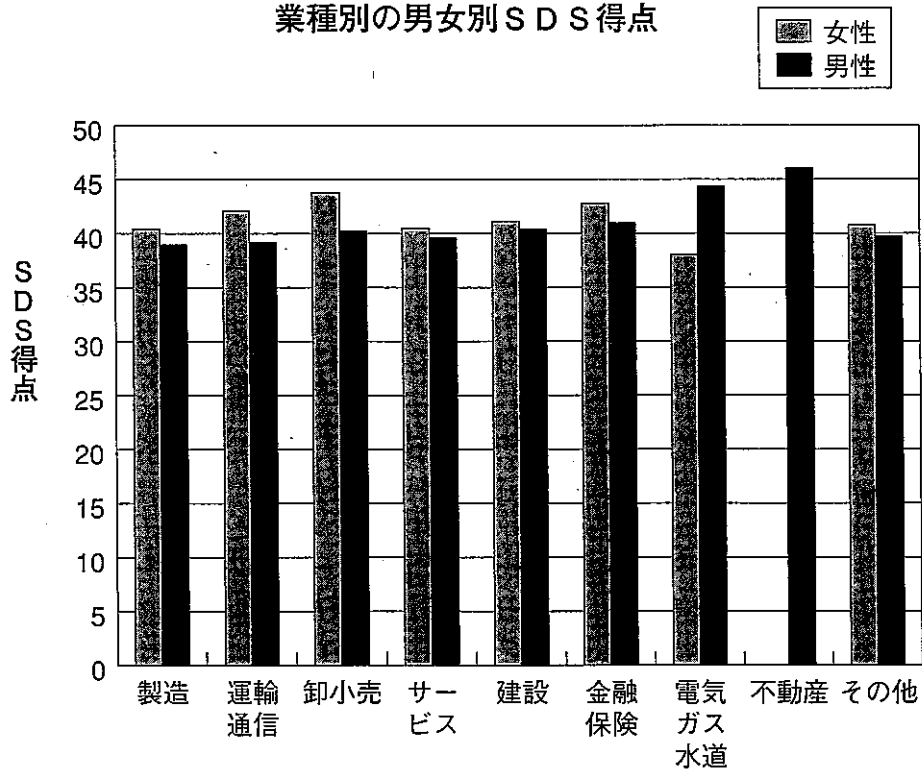
住居	家族関係			家族の対応			地域関係			社会・経済					
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性			
満足	523	227	296	満足	682	282	400	よく対応	540	244	296	満足	39	18	21
どちらでも	428	222	206	どちらでも	335	176	159	どちらでも	482	219	263	どちらでも	671	329	342
不満	131	52	79	不満	60	41	19	対応なし	55	36	19	不満	71	22	49
無記入	12	2	3	無記入	17	4	6	無記入	17	4	6	無記入	13	2	4
合計	1094	503	584	合計	1094	503	584	合計	1094	503	584	合計	1094	503	584

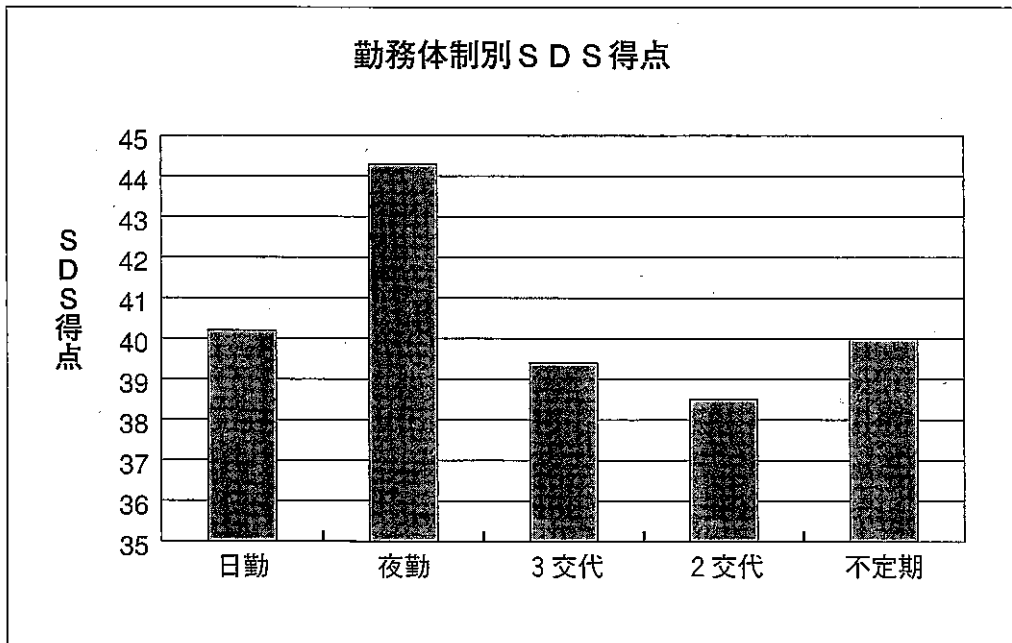
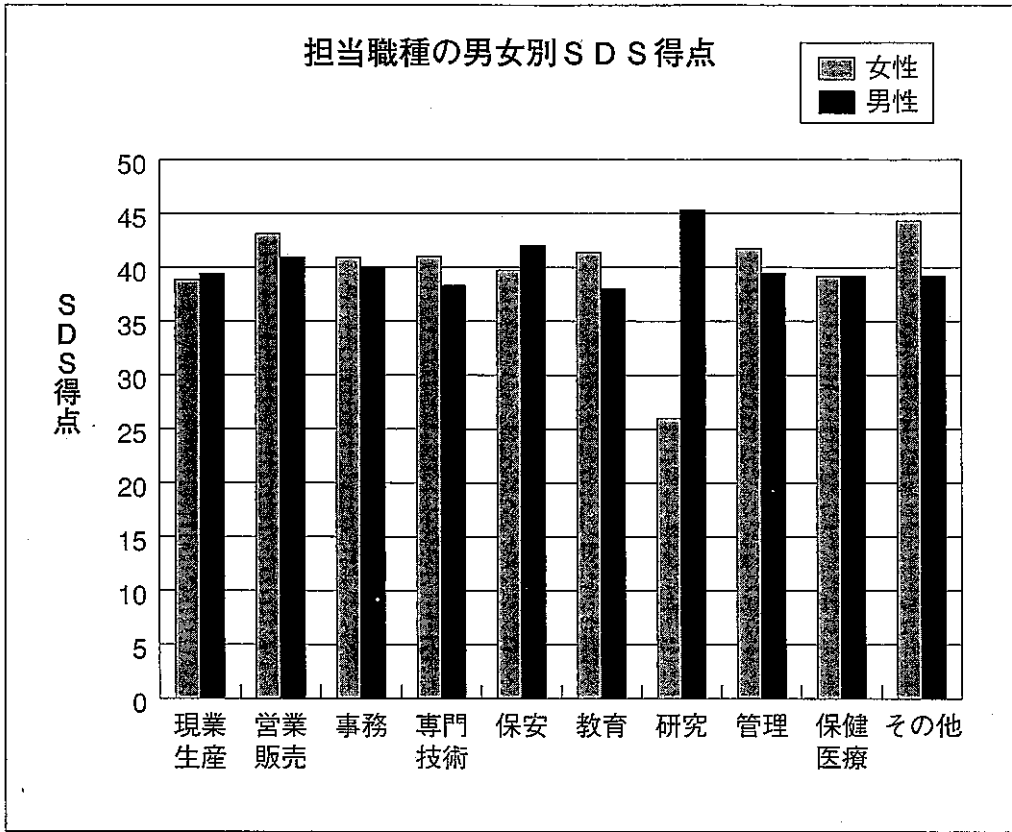


年齢別週労働時間

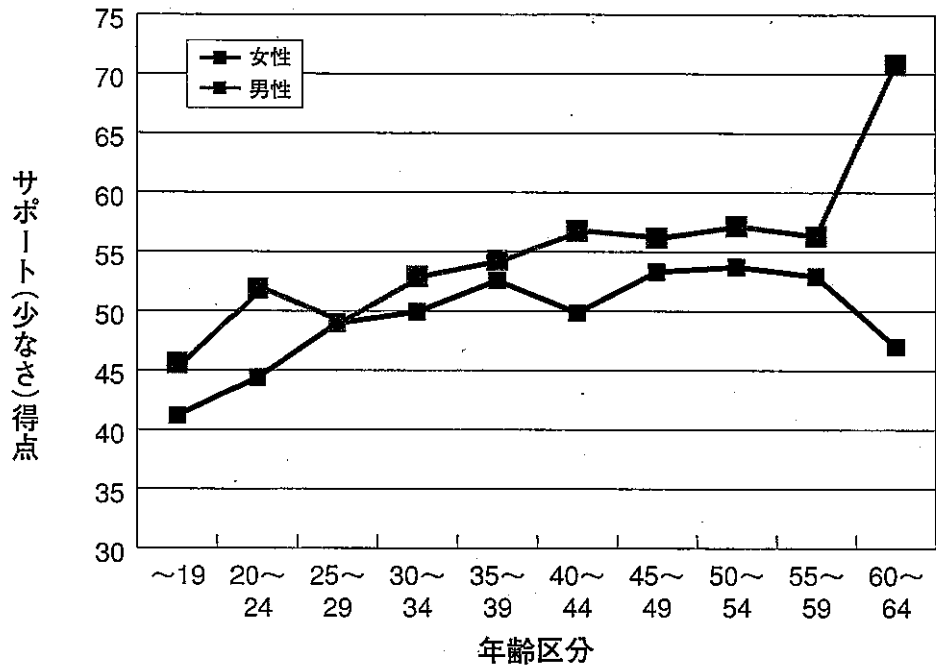


業種別の男女別SDS得点

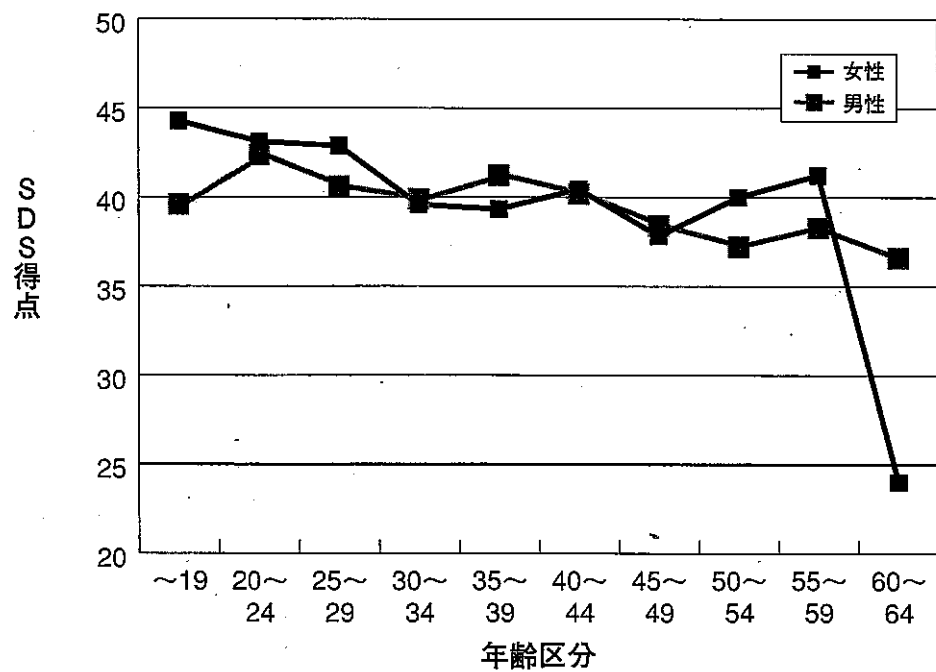




サポート(少なさ)得点の年齢×性別の分散分析の結果



S D S 得点の年齢 × 性別による分散分析の結果



平成 13 年度福島産業保健センター
産業保健調査研究

「働く人々のメンタルヘルスに関する調査」

この調査は、職場生活や日常生活の状況とその意識から、働く方々のメンタルヘルスとの関連を調べるため、労働福祉事業団の助成のもとに行われるものです。今後の労働環境の整備や働く方々のメンタルヘルスを支援するための貴重な資料とすることを目指しております。

皆さまご自身が、普段お感じになっている率直なご感想やご意見をお聞かせいただければ幸いです。記入にあたっては回りの方と話し合ったりしないでお答えいただければ、より実態に即した結果が得られます。ご自身のお考えでご回答をうかがいたく思います。

以上、何卒よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

2001年12月1日

福島産業保健推進センター研究班

所 長 小山 菊雄

相 談 員 沼田 吉彦（総合病院福島赤十字病院）

桃生 寛和（福島労災病院）

五十嵐 敦（福 島 大 学）

研究協力 岡本 香奈（福島労災病院）

※この表紙の裏面に、詳しい「回答の仕方」を記載しました。ご回答いただく前に、ぜひご一読願います。また、何かご質問などございましたら、当センターにお問い合わせください。

〈お問い合わせ先：福島産業保健推進センター〉

福島市栄町6-6 ユニックスビル9階

TEL024-526-0526/FAX024-526-0528

回答の仕方

*お願いする調査用紙は2部あります。

…A4版のものとB5版（SDS回答用紙）です。2部を一緒に提出願います。

*お名前は記入しないでください。

…SDS回答用紙に姓名ほか記入欄がありますが何も記入しないでください。ただし、複写式ですのでボールペンなどで記入願います。とじしろは開けないでください。

*結果は、すべて数量的データとして統計的に処理されます。どなたがどのように回答したかわからないようにします。

1. 記入は、濃い鉛筆かボールペンで願います。回答を訂正なさる場合、過って記入された場合は、=で消して正しい答えをご記入ください。
2. どれが正しい答えかというのはありません。能力テストではありません。
3. もっともよくあてはまると思う回答に○をつけてください。はっきりしない場合は、いちばん近いと思うものを答えてください。

数字や語句で答えていただく欄は、その質問文にそってご回答願います。

例：30分ぐらい

例：(あった)・なかった（質問6）



「2月頃友人の結婚式の手伝いで大変だった。」

4. いろいろな場合や場面が思い浮かぶかもしれませんが、あまり深く考えますと迷います。はじめに頭に浮かんだ印象でかまいません。また、程度など判断基準に迷いが生じるかもしれませんが、あくまでもご自分の基準で回答してください。
5. 質問項目によっては、「あてはまる」場合と「あてはまらない」場合とで番号が変わっているところがありますので、よくご確認の上ご回答願います。
また、この場合、数字と数字の間に○をつけないように願います。

例：1 2 3○4 …過った記入

1 2 ③ 4 …正しい記入

6. 質問1の⑩bは、すべての項目に1か2どちらかあてはまる方に○をつけてください。
7. 質問項目がたくさん並んでいる場合、回答される数字の列とのずれにご注意ください。

例：～である。————→ 1・2・3・④

8. 似たような質問でも、条件が異なっている場合があります。（例「いまの状況～」 「仕事で～」など）。できるだけ意識してご回答いただければ幸いです。
9. 質問4の後半に、「女性だけ・男性だけ」、「お子さんをおもちの方」だけにお聞きしている部分があります。それ以外はみなさんお答えください。

全体で、回答終了まで30分ぐらいかかります。あまり深く何度も考えますと答えにくくなります。まずはじめに頭に浮かんだままにお答えください。

それではよろしく願います。

質問1 はじめに、みなさんご自身の基本的な事についてお聞きします。それぞれあてはまるものに○をつけるか、あてはまる数字をご記入ください。

- ①性別 1. 女 2. 男
- ②年齢 1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳
5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳
9. 55～59歳 10. 60歳以上
- ③あなたの勤務形態は？ 1. 正規社員 2. 嘱託・パートタイム職員
- ④勤務先の業種は次のどれですか？
1. 製造業 2. 運輸・通信業 3. 卸・小売業 4. サービス業
5. 建設業 6. 金融・保険業 7. 鉱業 8. 電気・ガス・水道業
9. 不動産 10. その他（ ）
- ⑤あなたが主に担当されている職種は次のどれですか？
1. 現業・生産職 2. 営業・販売職 3. 事務職 4. 専門技術・技能職
5. 保安関係 6. 教育職 7. 研究職 8. 管理職（課長級以上）
9. 保健・医療関係 10. その他（ ）
- ⑥上記⑤の仕事を始めてから現在まで合計してどのくらいの年月になりますか？
年 月
- ⑦いまの職場（会社）で働くようになって、どのくらいの年月になりますか？
（同じ会社の中での異動は除く） 年 月
- ⑧現在の勤務時間体制は次のどれですか？
1. 日勤のみ 2. 夜勤のみ 3. 交代制勤務（8時間3交代）
4. 交代制勤務（12時間2交代） 5. 不規則、不規則の時間帯勤務
- ⑨あなたは週に何時間ぐらいの総労働時間になりますか？
（残業も含めておおよそでかまいません。時間単位でお答えください） 週 時間
- ⑩どのくらいの頻度で残業がありますか？
1. ほとんど毎日 2. 1週間に数回 3. 1週間に1回か2回
4. 1ヶ月に1回か2回 5. 1ヶ月に1回あるかないか 6. 残業はない
- ⑪あなたの最終学歴は次のどれですか？
1. 中学卒 2. 普通高校卒 3. 専門・職業高校卒 4. 専門・各種学校卒
5. 短大卒 6. 4年制大学卒以上 7. その他
- ⑫通勤時間はどのくらいですか？ 分ぐらい
- ⑬結婚はされていますか？
1. 結婚している（しているのと同じ） 2. 未婚である 3. その他（ ）
- ⑭お住まいは？
1. 一人暮らし（寮を除く） 2. 家族と同居 3. 寮など 4. その他
- ⑮ご家族についてお聞きします。
a ご家族は何人ですか 人
b 次の各項目についてお答えください。
乳幼児・未就学の子ども 1. いる 2. いない
思春期・受験生の子ども 1. いる 2. いない
未就職・未婚の成人の子ども 1. いる 2. いない
病気・入院中の家族 1. いる 2. いない
介護を必要とする高齢者 1. いる 2. いない

次頁にお進み下さい→

質問2 あなたの普段の生活習慣についてお聞きします。あてはまるところに○をつける
か、空欄には数字を記入してお答えください。

- ①睡眠 a 普段の就寝時刻〔 時 分頃〕 普段の起床時刻〔 時 分頃〕
b 休日や勤務のないときには、どの程度眠気を感じますか
1. かなり眠い 2. やや眠い 3. 眠気は感じない
- ②食事 a 1. 規則正しい 2. 不規則
b 食事の状況は？
1. 十分時間がとれる 2. 急いで食べることが多い 3. ふつう
- ③運動 a 運動はどのくらい行っていますか
1. 運動は適度に行っており十分である
2. 時々するが運動不足を感じている
3. ほとんど運動はしないし、する気もない
b aで1か2に○をつけた方はどのくらいの頻度ですか？
1. 毎日 2. 毎週 3. 毎月 4. 年に数回
- ④たばこ 1. 吸う⇒1日〔 〕本ぐらい
2. 吸わない 3. 以前は吸っていたがやめた
- ⑤お酒 1. ほぼ毎日 2. 時々飲む 3. 飲まない
- ⑥趣味や仕事以外の活動
1. よく楽しんでいる 2. ときどき楽しんでいる 3. 何もない
- ⑦読書 1. よくする 2. ときどきする 3. まったくしていない
- ⑧テレビ 1. よく見る 2. 少しは見る 3. ほとんど見ない

質問3 仕事や生活についてお聞きします。お感じになっている程度にあてはまる数字に
それぞれ○をつけてください。

- ①自分の担当している仕事の内容やペースは自分でどの程度決められますか。
1. かなり自分で決められる 2. 少しだけ自分で決められる 3. 決められない
- ②作業環境などは自分でどの程度変えたり調整することができますか。
1. 自分でできる 2. 少しは自分でできる 3. 自分で変えることはできない
- ③自分のもっている技能や知識をいまの仕事にどの程度生かすことができますか。
1. かなりできる 2. 少しできる 3. できない
- ④仕事に関わって、訓練や学習をする機会がありますか。
1. たくさんある 2. 少しある 3. ほとんどない
- ⑤仕事をすることで自分らしさを感じるがありますか。
1. 強く感じるができる 2. 少し感じるができる 3. 感じることはない
- ⑥仕事を生きがいとを感じるがありますか。
1. 強く感じるができる 2. 少し感じるができる 3. 感じることはない
- ⑦仕事に関して、認められたり良く評価される可能性がどの程度ありますか。
1. 可能性がある 2. 少しはある 3. 可能性はない
- ⑧仕事の質や量、レベルについて、どのように受け止めていますか。
1. 満足している 2. どちらともいえない 3. 不満である

次頁にお進み下さい→

⑨仕事で困難な問題が生じたとき、あなたは次の相談相手をどの程度頼りにしていますか（頼りにしたいと思いませんか）。あてはまる程度の番号に○をつけてください。

	とても	少し	しない	該当者なし
直属の上司	1	2	3	4
担当部署・係	1	2	3	4
上司以外の同僚や先輩	1	2	3	4
職場以外の友人・知人	1	2	3	4
産業医など	1	2	3	4

⑩あなたの個人的な問題が生じたとき、あなたは次の相談相手をどの程度頼りにされていますか（頼りにしたいと思いませんか）。あてはまる程度の番号に○をつけてください。

	とても	少し	しない	該当者なし
直属の上司	1	2	3	4
担当部署・係	1	2	3	4
上司以外の同僚や先輩	1	2	3	4
職場以外の友人・知人	1	2	3	4
産業医など	1	2	3	4
家族や親戚	1	2	3	4
電話相談など	1	2	3	4

⑪住居の環境について、どのように感じていますか。

1. 満足している 2. どちらともいえない 3. 不満である

⑫ご家族と関係について、どのように感じていますか。

1. 満足している 2. どちらともいえない 3. 不満である

⑬ご家族はあなたの苦勞や悩みなどについて、話を聞いてくれたり理解をしてくれますか。

1. よくしてくれる 2. どちらともいえない 3. なにもしてくれない

⑭隣近所や地域について、環境や人づき合いなどどのように感じていますか。

1. めぐまれていて満足している 2. どちらともいえない 3. 不満である

⑮今の社会・経済状況について、どのように感じていますか。

1. 満足している 2. どちらともいえない 3. 不満である

～女性の方だけに質問します～

①ご家族はあなたが働いていることで家事を分担したり協力をしてくれますか。

1. よくあるほうだ 2. 少しはあるほうだ 3. ほとんどない

～男性の方だけに質問します～

①あなたは家事や育児の分担をして、手伝うことがありますか。

1. よくあるほうだ 2. 少しはあるほうだ 3. ほとんどない

質問7 普段の生活の中で、あなたご自身が周りの方々との関係についてお聞きします。
それぞれの項目について、どの程度実際に受けているとお感じですか。

「いつもよくある」は1、「ときどきある」は2、「あまりない」は3、「ほとんどない」は4、に○をつけてください。

「まわりの人々は、わたしのことを…」

- | | |
|-----------------------|---------|
| ①励ましてくれる | 1・2・3・4 |
| ②どうしたらよいか助言してくれる | 1・2・3・4 |
| ③一緒に遊びに出かけてくれる | 1・2・3・4 |
| ④相談に乗ってくれる | 1・2・3・4 |
| ⑤必要な情報を与えてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑥問題の解決法についてアドバイスをくれる | 1・2・3・4 |
| ⑦決心がつかないときアドバイスをしてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑧何か手伝ってくれる | 1・2・3・4 |
| ⑨カラオケや酒をのみに連れて行ってくれる | 1・2・3・4 |
| ⑩悩みや愚痴を聞いてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑪一緒にいて楽しい時間を過ごしてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑫お金が必要になった時に貸してくれる | 1・2・3・4 |
| ⑬新しいことを学びたいとき教えてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑭必要なものを貸してくれる | 1・2・3・4 |
| ⑮あなたのよいところをほめてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑯間違いがあったときに指摘してくれる | 1・2・3・4 |
| ⑰あなたを理解してくれる | 1・2・3・4 |
| ⑱個人的な話を聞いてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑲わからなことがあるとき教えてくれる | 1・2・3・4 |
| ⑳あなたを評価してくれる | 1・2・3・4 |
| ㉑本気で心配してくれる | 1・2・3・4 |
| ㉒あなたの失敗をカバーしてくれる | 1・2・3・4 |
| ㉓気持ちを落ち着かせてくれる | 1・2・3・4 |
| ㉔あなたを信頼してくれる | 1・2・3・4 |

ご協力ありがとうございました。

ご質問やご意見など

平成 13 年度 「働く人々のメンタルヘルスに関する調査」報告書

平成 14 年 3 月 31 日発行

発行者 小山 菊雄

編集者 五十嵐 敦

発行所 労働福祉事業団
福島産業保健推進センター

〒960-8031 福島市栄町6-6 ユニックスビル9階

T E L : 024-526-0526

F A X : 024-526-0528

ホームページ <http://www1.biz.biglobe.ne.jp/sanpo07/>

メールアドレス sanpo07@mvd.biglobe.ne.jp

印刷所 福島印刷センター